

レファレンス事例

質問

預言者モハメッドに関する邦文図書
 <ロンドンのモハメッド教研究所から>

回答

- 『馬哈默伝』 林 董訳編 東京 千河岸
 貫一 1876 和2冊(84丁, 付録46丁)
- 『麻謁末』 坂本蠡舟(健)著 東京 博文
 館 1899 146 p (世界歴史譚 第6
 編)
- 『マホメットの戦争主義』 池元半之助著
 東京 春山房 1903 230 p
- 『快傑マホメット』 忽滑谷快天著 東京
 井列堂 1905 230 p
- 『マホメット言行録』 松本 起編著 東
 京 内外出版協会 1908 185 p
- 『野聖マホメット』 口村信郎著 東京
 ライト社 1922 453 p
- 『ムハメッド伝』 坂本健一著 東京 世
 界文庫刊行会 1923 2冊
- 『世界三聖の思想』 マーカス・ドッズ著
 藤井 章訳 京都 中外出版(株)
 1924 334 p
- 『人生論十二講』 江原小弥太・中西伊之
 助著 東京 白水社 1928 512 p
 マホメット: p 335~381
- 『大鼎呂』 野口善四郎著 東京 二西名
 著刊行会 1930 2, 24, 349, 5, 88,
 141 p 傘版抹土伝: p 1~141
- 『世界の師表 ムハメット伝』 イスラム
 教会訳編 東京 イスラム教会 1934
 38 p
- 『聖ムハンマッド小伝 イスラーム教祖』
 有賀阿馬士(文八郎)・西本 幹共著
 東京 日本イスラム布教本部 1935

58 p

- 『マホメット伝』 ワシントン・アーヴィ
 ング著 小林一郎訳 東京 東邦書院
 1940 421 p
- 『マホメット伝』 エミル・デルマンゲム
 著 古野清人訳 東京 白水社 1940
 446 p
- 『天方至聖実録』 劉介廉著 田中逸平訳
 東京 大日本回教協会出版部 1941
 427 p
- 『回教教祖 マホメット伝』 桜井 匡著
 東京 三省堂 1942 285 p
- 『マホメット』 内藤智秀著 高島華宵絵
 広島 広島図書(株) 1950 184 p
 (銀の鈴文庫)
- 『マホメット』 井筒俊彦著 東京 弘文
 堂 1952 79 p (アテネ文庫)
- 『ムハンマド伝の資料と研究』 嶋田襄平
 著 東京 アジア・アフリカ文献調査
 委員会 1964 26 p (アジア・アフ
 リカ文献調査報告 第36冊)
- 『預言者マホメット』 嶋田襄平著 東京
 角川書店 1966 222 p (角川新書)
- 『ムハンマド 預言者と政治家』 モンゴ
 メリー・ワット著 牧野信也・久保儀
 明訳 東京 みすず書房 1970 298
 p
- 『マホメット ユダヤ人との抗争』 藤本
 勝次著 東京 中央論社 1971
 190 p (中公新書)
- 『マホメットとアラブの大征服』 F. ガ
 ブリエリ著 矢島文夫訳 東京 平凡
 社 1971 310 p
- 『コーランは生きている アラブの秘典
 とマホメット』 田中四郎著 東京
 地産出版 1975 190 p マホメット
 の生涯: p 11~58
- 『アラブ思想と回教 マホメットの永遠

の訓え』 アブドル・ラハマン・アザム著 鹿島平和研究所訳 東京 鹿島研究所出版会 1975 286 p マホメットの伝記：p3~33

『マホメット 預言者の国づくり』 嶋田襄平著 東京 清水書院 1975 198 p

『預言者の妻たち』 アイシャ・アブドゥラハマン著 徳増輝子訳 東京 日本サウディアラビア協会、日本クウェイト協会 1977 269 p

『イスラム教史』 嶋田襄平著 東京 山川出版社 1978 296, 30 p マホメットと「コーラン」：p22~79

『マホメット』 牧野信也著 東京 講談社 1979 441 p (人類の知的遺産 17)

『イスラーム生誕』 井筒俊彦著 京都

人文書院 1979 231 p ムハンマド伝：p[13]~110

『商業帝国原始イスラムの謎』 ハンス・ゲオルグ・ベール著 金森誠也訳 東京 佑学社 1980 247 p マホメット—預言より利潤：p 43~79

『アラ—は偉大なり マホメットの生涯』 ビルジル・ゲオルギウ著 中谷和男訳 東京 サイマル出版会 1980 264 p (1980年9月現在)

配列は刊年順

主な典拠文献

『イスラーム関係文献目録(日本語の部) 1958年7月現在』 日本オリエント学会編・刊 [東京] 1959 47, 17 p 26cm

(38ページより続き)

現在はコンプトンの Watts 画廊を経営しているが、学者として、また画家として植物挿絵の技術向上に尽してきている。彼の手による作品は十指に余るが、その中には Veitch 金賞(高名な園芸家を記念したもの)を受けた *The Art of Botanical Illustration* (1950) <当館請求記号 741.63-B659 a2> も含まれている。

同書は15世紀以降今日までの植物図鑑の流れを紹介したものだが、この様な蓄積の上に本書は成り立ったといえよう。

(参考書誌部索引課 甲斐原綾子)

(39ページより続き)

しかも、その具体的な引用書名は編集担当者の退社により追えず、当館に提出された複写許可願にも〇〇ほか〇件と一括されていたのであった。

当館蔵ならぬ当館蔵さわざいではある。

(参考書誌部人文課 沢西良子)